

質 問 書（認定・変更用）

この質問書は、提出された申請の審査のために答えていただくものであり、重要な参考資料となります。回答に当たっては、各質問について該当するものにチェック☑又は○印で囲み、その他記入部分については、できるだけ具体的に、かつ詳しく記載・説明してください。

なお、事実と反する記入をしたことが判明した場合には申請人に係る審査上不利な扱いを受ける場合や罪に問われる場合がありますので、提出前に、記載内容に間違いがないことを確認し、ご自身で署名してください。

【記入に際しての説明】

※申請人（相手の方）とは、これから入国・在留のための審査を受ける外国人（我が国に滞在を希望する外国人）を指します。

※配偶者（あなた）とは、上記申請人と婚姻している日本人又は外国人を指します。

1 お互いの身分事項について記入して下さい。日本国籍の方につきましてはフリガナもお願いします。

①申請人	国籍・地域	氏 名	男
	ベトナム	ABC XYZ	(女)

配偶者	②氏名	フリガナ ザイリユウ シンセイ 在留 申請	国籍・地域	日本	
	③住所	大阪府大阪市〇〇区1-2-3			
		電 話	自宅	携帯	
		該当なし 080-xxxx-xxxx			
	④同居者の有無	☒ 無 ☐ 有 (氏名)			
		☐ 自己所有 ☒ 借家 家賃 90,000 円 2 LDK			
④職場	会社名	株式会社〇〇 職務内容 総務			
	所在地	大阪府大阪市〇〇区1-1-1			
	電 話	06-xxxx-xxxx	就職年月日	20xx年 4 月 1 日	

2 結婚に至った経緯（いきさつ）についてお尋ねします。

⑤（１） 初めて知り合った時期，場所や結婚までのいきさつを記入して下さい。

① 初めて会った時期： 20×× 年 5 月 1 日

場所： ベトナムハノイの飲食店（屋号「〇〇」）

⑥ ② 初めて会ってから（紹介により知り合われた方は，紹介されたいきさつから）結婚届を出されるまでのいきさつを，年月日を示しながら，できるだけ詳しく記載してください。

なお，行数が足りないときは，適宜の用紙を使用し記載していただいて結構です。また，説明に関連する写真・手紙や国際電話の利用などを証明するものを添付されても結構です。

20××年5月1日に仕事でベトナム出張の際に、現地の従業員〇〇と訪れた飲食店〇〇で初めて知り合いました。

20××年10月

20××年3月

20××年7月

20××年11月

20××年12月

- ・配偶者と初めて知り合った場所
- ・配偶者と初めてデートした場所
- ・配偶者と訪れた場所
- ・両親に紹介した場所
- ・結婚式、披露宴を行った場所
- ・交際日、プロポーズした日

上記の内容を日付と共に時系列で具体的に記載していきます。

※参考資料として、2人が映っている写真や結婚式の写真、両親に紹介しているときの写真、SNSでのやり取りの画像等を資料を提出することになります。

⑦(2) 紹介者の有無などについて

☐ 無

☒ 有（結婚相談所による紹介の場合は、氏名欄に会社名を記載して下さい。）

⑧ 紹介者：国 籍： ベトナム

氏 名： ZYX CBA (男・女)

生年月日： 19xx 年 10 月 1 日

住 所： 東京都〇〇区〇〇1-2-3

電話番号： 070-xxxx-xxxx

外国人の方の場合は在留カード番号 DX11111111

紹介された年月日、場所及び方法

年 月 日： 20xx 年 6 月 1 日

場 所： ベトナムハノイの飲食店〇〇

方 法： ☐ 写真 ☐ 電話 ☒ 対面 ☐ E-mail

☐ その他（ ）

⑨ 紹介者と申請人（相手の方）との関係（詳しく記載して下さい）：

紹介者と申請人は、〇〇大学に通っていた学友であり、〇〇大学卒業から現在に至るまで、定期的に連絡を取り合い、友好的な関係を築いています。

紹介者と配偶者（あなた）との関係（詳しく記載して下さい）：

紹介者とは株式会社〇〇の同僚であり、私が東京出張に行く際には、会食をする等の交流があります。また、ベトナム出張の際には、同行してもらうことも多く、信頼できるビジネスパートナーです。

* 紹介者との関係は、単に友人・知人と記載するのではなく、どのような関係か詳しく記載してください。

⑩ 3 夫婦間の会話で使われている言語についてお尋ねします。

(1) 日常、ご夫婦の会話に使われている言葉（例えば、中国語、日本語等）は何ですか。

日本語、英語

(2) お互いの母（国）語は何ですか。

① 申請人（お相手の方） ベトナム 語

② 配偶者（あなた） 日本 語

⑪ (3) 申請人（お相手の方）は、配偶者（あなた）の母国語をどの程度理解できますか。

☐ 難しい＝通訳が必要

☐ 筆談／あいさつ程度

☒ 日常会話程度は可能

☐ 会話に支障なし

(4) 配偶者（あなた）は、申請人（お相手の方）の母国語をどの程度理解できますか。

☐ 難しい＝通訳が必要

☐ 筆談／あいさつ程度

☒ 日常会話程度は可能

☐ 会話に支障なし

(5) 申請人（お相手の方）が日本語を理解できる場合は、いつ、どのように学んだのか、具体的に記載して下さい。

20××年に日本の〇〇大学に留学し、授業の一貫として日本語も履修していました。

その結果として、日本語検定N2に合格し、基本的な日本語でのコミュニケーションを行うことが可能となりました。

(6) お互いの言葉が通じない場合、どのような方法で、意思の疎通を図っていますか。

⑫ 【方法】：基本的には日本語でのコミュニケーションでやり取りが可能なので、意思疎通には
問題はありませんが、仮に意思疎通が難しい場合は、翻訳アプリを使用して
意思疎通を図ることにしています。

【通訳者がいた（いる）場合】

① 通訳者の氏名：該当なし

② 通訳者の国籍：

③ 通訳者の住所：

⑬ 4 日本国内で結婚された方は、結婚届出時の証人2名を記入して下さい。

(1) 氏名：山田 太郎 (男・女)

住所：大阪府大阪市〇〇区〇〇町1-2-3-201号

電話：070-xxxx-xxxx

(2) 氏名：田中 太郎 (男・女)

住所：兵庫県尼崎市〇〇町1-2-3

電話：090-xxxx-xxxx

⑭ 5 結婚式（披露宴）を行った方は、その年月日と場所等を記入してください。

年月日： 20×× 年 2 月 1 日

場 所： ベトナムハノイの結婚式場〇〇

出席者：申請人側 父 母 兄 弟 姉 妹 子

配偶者側 父 母 兄 弟 姉 妹 子

双方の出席者 計 50 人

⑰ 6 結婚歴についてお尋ねします。

申請人（お相手の方）：☒初婚

☐再婚（ 回目）

前回の結婚は 年 月 日～ 年 月 日

（☐離婚 ☐死別）

配偶者（あなた）：☐初婚

☒再婚（ 1 回目）

前回の結婚は 20××年 3 月 1 日～ 20××年 2 月 1 日

（☒離婚 ☐死別）

⑱ 7 申請人（お相手の方）がこれまでに来日されているときは、その回数と時期を記入して下さい。

（1）回数 3 回

（2）時期

来日目的（観光・仕事等）

① 20××年 1 月 10 日～ 20××年 2 月 1 日（ 観光 ）

② 20××年 3 月 1 日～ 20××年 4 月 1 日（ 親族訪問 ）

③ 20××年 6 月 1 日～ 20××年 7 月 1 日（ 私と会うため（観光） ）

④ 年 月 日～ 年 月 日（ ）

⑤ 年 月 日～ 年 月 日（ ）

*多数の場合は直近の渡航歴を記載願います。

8 配偶者（あなた）がこれまでに申請人の母国に行かれているときは、その回数と時期を記入してください。

婚姻が成立した日まで記載

⑪ (1) 知り合ってから結婚までの間 (4 回)

- ① ××××年 1 2 月 3 0 日 ~ ××××年 1 月 5 日
② ××××年 4 月 1 日 ~ ××××年 4 月 2 0 日
③ ××××年 7 月 2 0 日 ~ ××××年 8 月 1 0 日
④ ××××年 9 月 1 0 日 ~ ××××年 9 月 3 0 日
⑤ 年 月 日 ~ 年 月 日

* 多数の場合は直近の渡航歴を記載願います。

(2) 結婚後 (2 回)

- ① ××××年 1 0 月 2 0 日 ~ ××××年 1 0 月 3 0 日
② ××××年 1 1 月 2 0 日 ~ ××××年 1 2 月 1 0 日
③ 年 月 日 ~ 年 月 日
④ 年 月 日 ~ 年 月 日
⑤ 年 月 日 ~ 年 月 日

* 多数の場合は直近の渡航歴を記載願います。

婚姻成立後から記載

9 申請人は日本から退去強制されたことがありますか (出国命令も含みます。)

☒ 無

☐ 有 (回)

⑫ 10 9で「退去強制されたことがある」と記入された方にお尋ねします。

(1) 違反の内容

- ☐ 不法残留 (オーバーステイ)
☐ 不法入国 (密入国・偽造パスポート使用など)
☐ その他 ()

「無」の場合は記載不要

(2) 退去強制などにより出国した年月日 (直近のもの) と空港名

年月日 : 年 月 日 空港から

(3) 当時使用していたパスポートの国籍、氏名及び生年月日は、今回の申請における国籍、氏名及び生年月日と同じですか。

☐ 同じ

☐ 別の氏名等 国 籍 : _____
氏 名 : _____
生年月日 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

⑬で「無」にチェックをしている場合は
記載不要

(4) 退去強制されるまでの間に夫婦で同居した事実がある方は、その期間と住所を記入して下さい。

期間： 年 月 日 ～ 年 月 日

住所： _____

⑳ 11 申請人（お相手の方）と配偶者（あなた）の親族について記入して下さい。

※日本に居住している方の電話番号は可能な限り記入して下さい。父母がお亡くなりになっている場合には、「住所欄」に「死亡」と記載して下さい。お子さんについては、(2)の表に記載して下さい。お子さんがいない場合は、「なし」と記載して下さい。

(1) 父・母・兄弟・姉妹について記載して下さい。

	続柄	氏 名	年 齢	住 所	電話番号
【記載例】					
	父	入管太郎	6 2	東京都千代田区×× 1-2-301	03-▽△-××××
夫 の 親 族	父	在留 新規	62	大阪府大阪市〇〇区〇〇3-2-1	080-xxxx-xxxx
	母	在留 更新	62	大阪府大阪市〇〇区〇〇3-2-1	080-xxxx-xxxx
	姉	山田 花子	33	東京都〇〇区〇〇町2-3-1	080-xxxx-xxxx
【記載例】					
	父	Nyukan James V.	6 2	New York, U.S.A (都市名まで)	××××-12-〇〇-345
妻 の 親 族	父	ABC HIJ	65	HOCHIMIN〇〇	xxxx-xxxx
	母	ABC OPQ	64	HOCHIMIN〇〇	xxxx-xxxx

既に死亡している場合は「死亡」と記載

②② (2) お子さんについて記載して下さい。

続柄	氏 名	生年月日	住 所
【記載例】 夫の長男	入管三郎	1975.11.19	埼玉県さいたま市×× 9-8-7
妻の長女	Nyukan Mary C	1999.12.15	New York, U.S.A (都市名まで)
	該当なし		

②③ 12 親族で今回のご結婚を知っている方はどなたですか。

(該当するところを○で囲んで下さい。)

夫側： (父) (母) 兄 弟 (姉) 妹 子
 妻側： (父) (母) 兄 弟 姉 妹 子

②④ 以上の記載内容に誤りはありません。

20×× 年 5 月 1 日

配偶者が自筆で署名

署 名 (配偶者)： 在留 申請

(注) 事実と異なる記入をしたことが判明した場合には申請人に係る審査上不利益な扱いを受ける場合や罪に問われる場合がありますので、提出前に、記載内容に間違いがないことを確認し、ご自身で署名してください。